



## Red Hat Insights 2022

# Ansible Playbook を使用したセキュリティーポリシーコンプライアンスの問題修正

Playbook を作成してセキュリティーポリシーの問題を修正し、RHEL インフラストラクチャーコンプライアンスの方法を自動化します



## Red Hat Insights 2022 Ansible Playbook を使用したセキュリティーポリシーコンプライアンスの問題修正

---

Playbook を作成してセキュリティーポリシーの問題を修正し、RHEL インフラストラクチャーコンプライアンスの方法を自動化します

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Remediating\_Security-Policy\_Compliance\_issues\_using\_Ansible\_Playbooks.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

セキュリティーポリシーの採用による RHEL システムの準拠が失われる問題を修正します。

---

## 目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....	3
RED HAT ドキュメントへのフィードバック .....	4
第1章 INSIGHTS FOR RHEL コンプライアンスサービス修復のための概要 .....	5
第2章 選択したポリシーのコンプライアンスしきい値を改善するためのシステムの修復 .....	6
第3章 複数のポリシーからルールを修正し、システムのコンプライアンススコアを向上 .....	7
第4章 参考資料 .....	8



## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#)をご覧ください。

## RED HAT ドキュメントへのフィードバック

弊社のドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックを提供するには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加します。

### 前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルでは、このドキュメントは **Multi-page HTML** 表示形式です。

### 手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **フィードバック** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



#### 注記

フィードバック機能は、**マルチページ HTML** 形式でのみ有効です。

2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. ハイライトされたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題リンクをクリックします。



## 第1章 INSIGHTS FOR RHEL コンプライアンスサービス修復のための概要

Compliance サービスは、OpenSCAP セキュリティポリシーを採用した Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 環境のコンプライアンスステータスを表示し、システムのコンプライアンスに影響する個々のルールを特定します。

Compliance サービスは、ルールとシステムのペアごとに、問題の解決手順を示し、Ansible Playbook を作成して自動修復を有効にします。

Compliance サービスを使用すると、以下のアプローチで問題を修復できます。

- ポリシー1つが適用される複数のシステムを修正して、ポリシーを許容可能なコンプライアンスのしきい値まで引き上げます。
- 単一のシステムのコンプライアンスステータスに影響を与える1つ以上のルールを、ポリシーごとに修正します。

## 第2章 選択したポリシーのコンプライアンスしきい値を改善するためのシステムの修復

ポリシーのコンプライアンスのしきい値に影響するシステムを修復するには、以下の手順を実施します。

### 手順

1. [Red Hat Enterprise Linux > Compliance > SCAP policies](#) ページに移動し、ポリシーをクリックします。
2. **System** タブをクリックします。
3. 修正するシステムのチェックボックスにチェックを入れて、**Remediate** をクリックします。
4. 修復を既存または新規の Playbook に追加するかどうかを選択し、以下のアクションを実行します。
  - a. **Add to existing playbook** をクリックし、ドロップダウンリストから必要な Playbook を選択します。または
  - b. **Create new playbook** をクリックし、Playbook 名を追加します。
  - c. **Next** をクリックします。
5. 概要の情報を確認します。
  - a. デフォルトでは、**autoreboot** が有効になっています。**Turn off autoreboot** をクリックすると、このオプションを無効にできます。
  - b. **送信** をクリックします。
6. Insights for Red Hat Enterprise Linux services メニューで **Remediations** を選択します。
7. 作成した Playbook を見つけ、その横にあるチェックボックスにチェックを付けます。
8. **Download playbook** ダウンロードリンクを使用して playbook をダウンロードします。

## 第3章 複数のポリシーからルールを修正し、システムのコンプライアンススコアを向上

システムのコンプライアンススコアに影響するルールを修正するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. [Red Hat Enterprise Linux > Compliance > Reports](#) ページに移動します。
2. システムをクリックします。
3. スクロールダウンして、システムに影響するルールの一覧を表示します。
4. フィルターを使用して一覧を絞り込み、最も重要なルールを公開します。
5. 修正するルールの横にあるチェックボックスにチェックを入れて、**Remediate** をクリックします。
6. 既存の Playbook または新しい Playbook に追加するかどうかを選択し、以下のいずれかのアクションを実行します。
  - a. **Add to existing playbook** をクリックし、ドロップダウンリストから必要な Playbook を選択します。または
  - b. **Create new playbook** をクリックし、Playbook 名を追加します。
  - c. **Next** をクリックします。
7. 概要の情報を確認します。
  - a. デフォルトでは、**autoreboot** が有効になっています。**Turn off autoreboot** をクリックすると、このオプションを無効にできます。
  - b. **送信** をクリックします。
8. Insights for Red Hat Enterprise Linux services メニューで **Remediations** を選択します。
9. 作成した Playbook を見つけ、その横にあるチェックボックスにチェックを付けます。
10. **Download playbook** ダウンロードリンクを使用して playbook をダウンロードします。

## 第4章 参考資料

Compliance サービスの詳細は、以下の資料を参照してください。

- [RHEL システムの Security-Policy コンプライアンスの評価および監視](#)
- [Compliance サービスレポートの生成](#)
- [Insights for Red Hat Enterprise Linux ドキュメント](#)
- [Insights for Red Hat Enterprise Linux 製品サポートページ](#)